



平成 27 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 大東紡織株式会社
代表者名 取締役社長 国広 伸夫
(コード番号：3202 東証・名証各第 1 部)
問合せ先 経営管理本部経営企画部長 三枝 章吾
(TEL 03-3665-7843)

子会社の解散予定および特別清算の方針に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、当社の連結子会社である株式会社 ロッキングガムペンタ（以下“R P社”という）を平成 27 年 7 月 31 日に解散予定とすることおよび特別清算の方法にて清算する方針について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 解散に至った理由

R P社は 1974 年の創業以来、長年にわたり多くのお客様の支持を得て、紳士スーツ中心に全国の百貨店・専門店などで幅広く事業展開して参りました。

しかしながら、昨今のクールビズの定着や少子高齢化などによる紳士スーツ離れ等が響き、特に百貨店部門における売上が減少してきておりました。その間、R P社は、専門店部門の強化、不採算店舗からの撤退、人員合理化、人件費を含む経費削減など出来る限りの経営努力を続けるとともに、当社も親会社として相応の信用供与や人材派遣などの支援策も実行し、近年専門店部門で増収となるなど一定の成果が見られておりました。しかしながら、昨年度の消費増税後の影響が長引いたことや円安に伴う輸入コストの上昇には抗しがたく、一段の業績悪化が進む見通しとなりそのことを主因に、平成 27 年 2 月には当社として 4 期ぶりの連結当期純利益の赤字見通しを公表するに至りました。その後も、様々な努力を続けましたが、R P社の平成 27 年 3 月期業績は一段と悪化し営業損失が拡大し 3 期連続の営業赤字となりました。

かかる中、R P社の足元の業績は引き続き厳しく、新年度以降の消費回復と輸入コストの販売価格への転嫁も思うように進まないことから、当社グループの伝統的な事業である紳士服販売事業ではありますが、R P社経営陣とも協議のうえ、これ以上の業績改善が望めない中での赤字継続は回避すべきであり、速やかに事業撤退することが望ましいとの判断に至ったものであります。

ただし、お取引先様への影響を最小限とするために、既に納入済みの春夏物について7月末まで販売継続することとし、その後、特別清算を実施することが最善であると判断し、本件決定いたしました。

2. 解散する子会社の概要

(1) 名称	株式会社ロッキンガムペンタ	
(2) 所在地	東京都中央区日本橋小舟町6-6	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 明日 政秀	
(4) 事業内容	繊維・アパレル事業	
(5) 資本金	10百万円	
(6) 設立年月日	昭和49年2月	
(7) 大株主及び持株比率	大東紡織株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の株式を100%所有しております
	人的関係	当該会社の取締役2名および監査役1名は当社の役職員を兼任しております
	取引関係	当社と当該会社との間には、紳士衣料品の売買等の関係があります
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の連結子会社であるため、関連当事者に該当いたします。

最近3年間の経営成績および財政状態

(単位：百万円)

決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
純 資 産	△1,504	△1,575	△2,334
総 資 産	776	780	693
売 上 高	1,341	1,368	649
営 業 利 益	△67	△45	△613
経 常 利 益	△89	△55	△618
当 期 純 利 益	△89	△62	△773

なお、平成27年3月期については解散に伴う引当金等の積み増しを実施しております。

3. 解散および特別清算の日程（予定）

平成27年7月31日 解散日（予定）

平成27年9月下旬 特別清算申立（予定）

平成28年3月下旬 特別清算終了（予定）

4. 特別損失の発生およびその内容

関係会社整理損失引当金繰入額 66 百万円（特別退職金含む）、たな卸資産評価損 17 百万円等の合計 95 百万円の特別損失の計上を実施します。なお、連結貸借対照表に与える影響は軽微であります。

5. 今後の見通し

上記特別損失は平成 27 年 3 月期決算において処理いたしますが、平成 28 年 3 月期において R P 社解散までの運営経費等を計上することを見込んでおります。

なお、今後、R P 社の一部事業を譲渡する方向で検討を進めることとしており、一部事業譲渡が決定する場合ならびに R P 社の事業終了までの業績の進捗や清算手続きを進めていく過程で業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

6. 当社グループの今後について

当社といたしましては、本日付で公表いたしました「繊維・アパレル事業における構造改革の実施および特別損失の計上ならびに平成 27 年 3 月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ」の通り、構造改革諸施策を確実に実施することで、下表のとおり平成 28 年 3 月期連結当期純利益の黒字転換を見込んでおります。

以上

(参考) 平成 28 年 3 月期連結業績予想 (平成 27 年 5 月 19 日公表)

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
予 想	5,210	310	40	30
前年実績 (平成 27 年 3 月期)	5,937	△232	△519	△644